

高等学校 外国語科 (英語) 学習 指導案

指導者 石原 義文

日時	平成28年10月11日(土) 第1限(9:30~10:20)
場所	研修室
学年・級	第4高等学校II年4組 43人 (男子23人 女子20人)
単元	Lesson 9 "The Underground Reporters"
目標	PRO-VISION English Communication II (桐原書店) 1. 仲間と協力し、課題の解決のためにコミュニケーションを図る。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) 2. 既習の知識と、題材で用いられる語法や文法を利用して、相手に意向を伝える。 (外国語表現の能力) 3. 題材で用いられている語法や文法を理解する。 (言語文化についての知識・理解)

指導計画 (全6時間)  
 第一次 教科書本文の内容・言語材料を理解する。4時間(本時4/4)  
 第二次 課題について、互いに意見を述べ合い、情報を整理し、まとめて発表する。2時間

授業について  
 第二次世界大戦中、生徒たちと同年代のユダヤ人の若者たちが、絶望的な状況下で前向きに生きようとした証が「クレピー」といふ新聞であった。困難に立ち向かった姿が、時代を超えて生徒たちに勇気をもたらす教材である。最終的に自分たちが同じような状況にいた場合、果たしてどんなことができるだろうか。想像し、自分の思いを仲間に話したり、あるいは、仲間からの意見を聞きながら、自分の考えを明確にさせる機会になるであろう。  
 本年度は、協同的な学習を進める中で、自らの学習に責任を負うことで、学習の深化を図りたいと考えている。自ら調べたことを、自らの口で仲間に伝える、教えるという作業を通して、自らの学習が深まるとともに、人の役に立つことの満足感、クラスひとりひとりがつながりを広げることの期待している。

題目 互いに教えあい、学びあう授業を目指して

本時の指導目標  
 1. 自分自身の学習に責任を持ち、自分自身の役割を果たそうとする。  
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)  
 2. 与えられた情報を考えを整理し、自分の意見を表明する。(外国語表現の能力)  
 3. 題材の内容・語法・文法を、協力し合いながら、理解する。(外国語理解の能力)

本時の評価規準(観点・方法)  
 1. 学んだことについて、積極的に聞き手に伝えようとし、それに対し聞き手は積極的に関わることをできる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度/活動の観察、ワークシート)  
 2. 題材や様々な情報を、様々な活動を通して理解できる。(外国語理解の能力/定期考査)  
 3. 自分の考えを、まとまりのある英文で表現できる。  
 (外国語表現の能力/パフォーマンステスト(後日))  
 4. 題材に関心をもち、内容を理解しようとしているとともに、自分たちの立場から題材を考えようとする。(言語や文化についての知識/理解/活動の観察)

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
帯活動 ディスカッション (形態：グループ 学習：協同 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向けて意見を述べる</li> <li>互いの意見をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>偏ることなく、グループ全員の意見が述べられるよう配慮するよう促す。</li> </ul>
前時の復習 (形態：グループ・ペア 学習：個別 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習内容について互いに確認をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手のことをきちんと評価するよう促す。</li> <li>互いに自分の意見の根拠を示せるよう促す。</li> </ul>
本時活動 題材の理解 (形態：グループ 学習：協同 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>エキスパート活動：自分の担当箇所について十分説明できるように話し合う。</li> <li>ジグソー活動：他グループからの意見を参考に、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問があれば、支援する。</li> <li>全員が参加できるように促す。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返り、何を学んだかを考える。</li> </ul>	